

# 米国経済・金融概況 (2021年9月)

2021年9月16日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

# 1. 企業活動

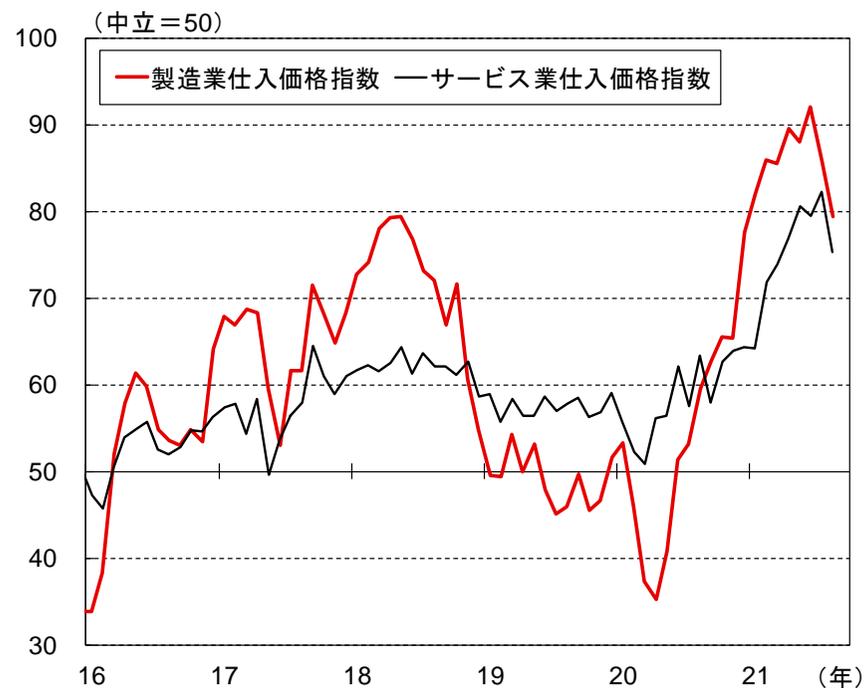
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数は、8月に59.9（前月比+0.4）と小幅上昇し、拡大と縮小の境目である50を15ヵ月連続で上回った。指数の構成項目をみると、新規受注指数は66.7（同+1.8）、生産指数は60.0（同+1.6）、在庫指数は54.2（同+5.3）と前月から上昇した一方、雇用指数は49.0（同▲3.9）、入荷遅延指数は69.5（同▲3.0）と低下した。産業別にみると、全18産業のうち15産業が前月から活動の拡大、2産業が縮小、1産業が横這いを報告（7月は17産業が拡大、1産業が縮小を報告）。
- 8月のISMサービス業指数は61.7（前月比▲2.4）と2ヵ月ぶりに低下。指数の構成項目をみると、企業活動指数が60.1（同▲6.9）と前月から大きく低下。もっとも、拡大と縮小の境目である50を15ヵ月連続で上回り高水準を維持。産業別にみると、全18産業のうち17産業が前月から活動の拡大、1産業が縮小を報告（7月は17産業が拡大、1産業が横這いを報告）。
- 8月の仕入価格指数は製造業が79.4（前月比▲6.3）、非製造業が75.4（同▲6.9）と前月から大きく低下しており、供給制約に伴う物価上昇圧力はピークアウトしつつあることを示唆。

ISM製造業・サービス業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

仕入価格指数の推移

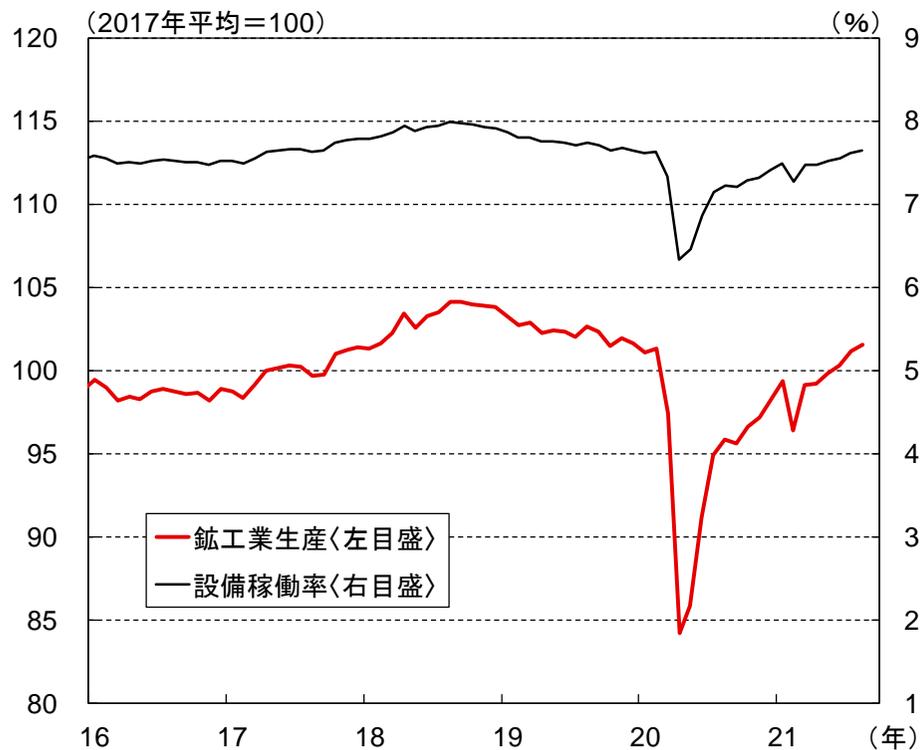


(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 2. 生産

- 8月の鉱工業生産は前月比+0.4%と6ヵ月連続で増加。「製造業」は同+0.2%と小幅増加、「公益事業(電力・ガス)」は猛暑による冷房需要拡大で同+3.3%と増加した一方、「鉱業」は同▲0.6%と減少。なお、8月下旬に上陸したハリケーンアイダは「製造業」及び「鉱業」に影響を及ぼし、同月の鉱工業生産を▲0.3%ポイント下押し(統計発表元のFRB試算)。8月の設備稼働率は76.4%と前月から+0.2%ポイント上昇。
- 7月の耐久財受注は前月比▲0.1%と3ヵ月ぶりに小幅減少。内訳をみると、全体の約3割を占める「輸送用機器」が同▲2.1%(うち民間航空機が同▲48.9%)と減少。設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)は7月に同+0.1%と5ヵ月連続で小幅増加。パンデミックによって先送りされたペントアップ需要や事業再開に伴う設備投資需要により、高水準の受注が継続。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

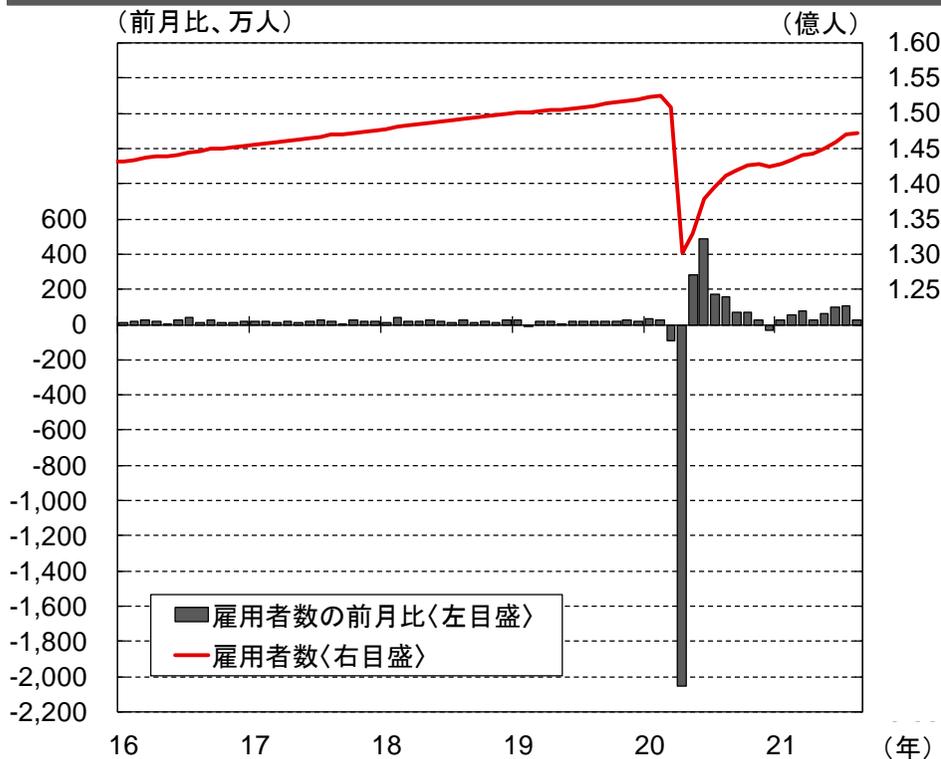


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 3. 雇用

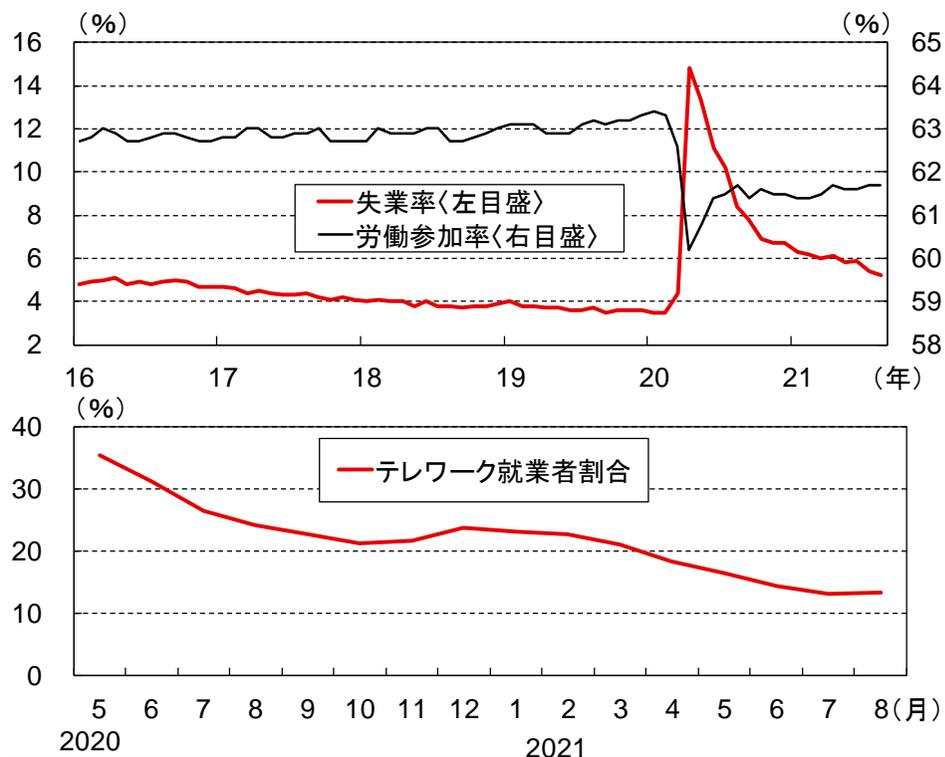
- 8月の非農業部門雇用者数は前月比+23.5万人と、7月(同+105.3万人、改定値)から大幅に減速。業種別にみると、「専門・ビジネスサービス」(同+7.4万人)、「輸送・倉庫」(同+5.3万人)、「教育」(同+4.0万人)、「製造業」(同+3.7万人)などが増加した一方、6カ月連続で大幅に増加していた「レジャー・飲食」はデルタ変異ウイルスの感染拡大の影響で横這いに止まる。非農業部門雇用者数の水準はパンデミック前(2020年2月)比▲533万人(▲3.5%)。
- 8月の失業率は5.2%と7月(5.4%)から低下、失業者数は838.4万人と前月比▲31.8万人の減少。労働参加率は61.7%と前月から横這い。8月の時間当たり平均賃金(民間部門)は、前月比+0.6%、前年比+4.3%と、前月から夫々加速。
- パンデミックを理由に過去4週間以内にテレワークを行った就業者の割合は8月に13.4%と前月(13.2%)から小幅上昇。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率・労働参加率・テレワーク就業者割合の推移



(注)『テレワーク就業者割合』はパンデミックを理由に過去4週間でテレワークした人が就業者に占める割合。  
(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

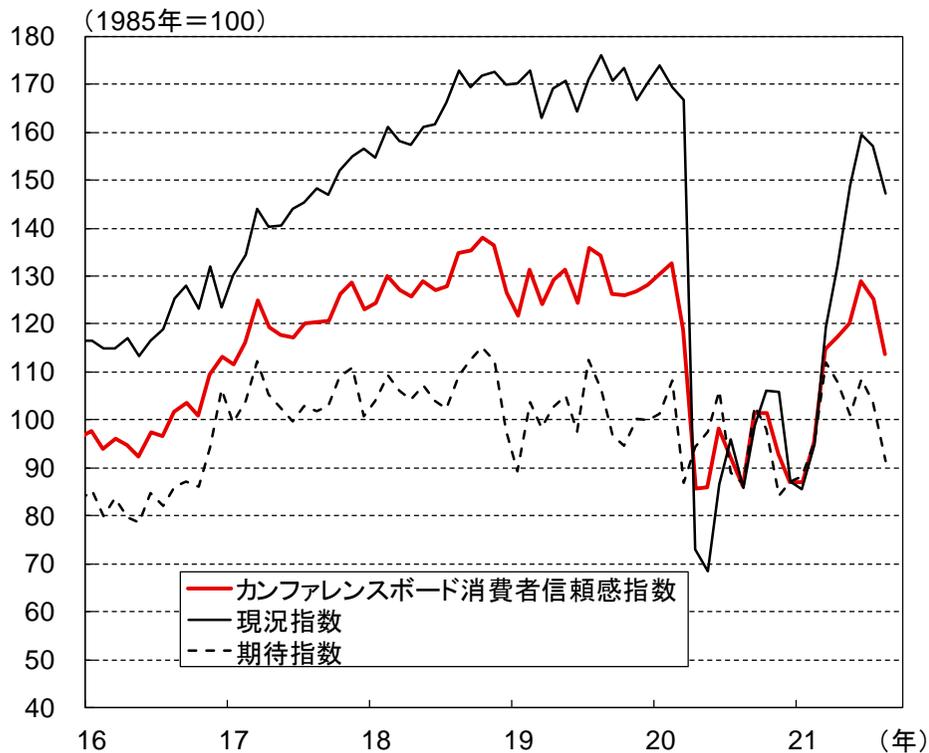
## 4. 個人消費

- 8月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は113.8(前月比▲11.3)と大幅に低下。内訳をみると、現況指数は147.3(同▲9.9)と、期待指数は91.4(同▲12.4)と、期待指数がより悪化<sup>(注)</sup>。同調査責任者のフランコ氏は、デルタ変異ウイルスの感染拡大が指数低下の主な要因であり、インフレ懸念も幾分影響したと指摘。

(注) 現況指数は現在の①「ビジネス環境」、②「労働市場」に関する見方、期待指数は6ヵ月先の①「ビジネス環境」、②「労働市場」、③「家計所得」に関する見方に基づいて算出。

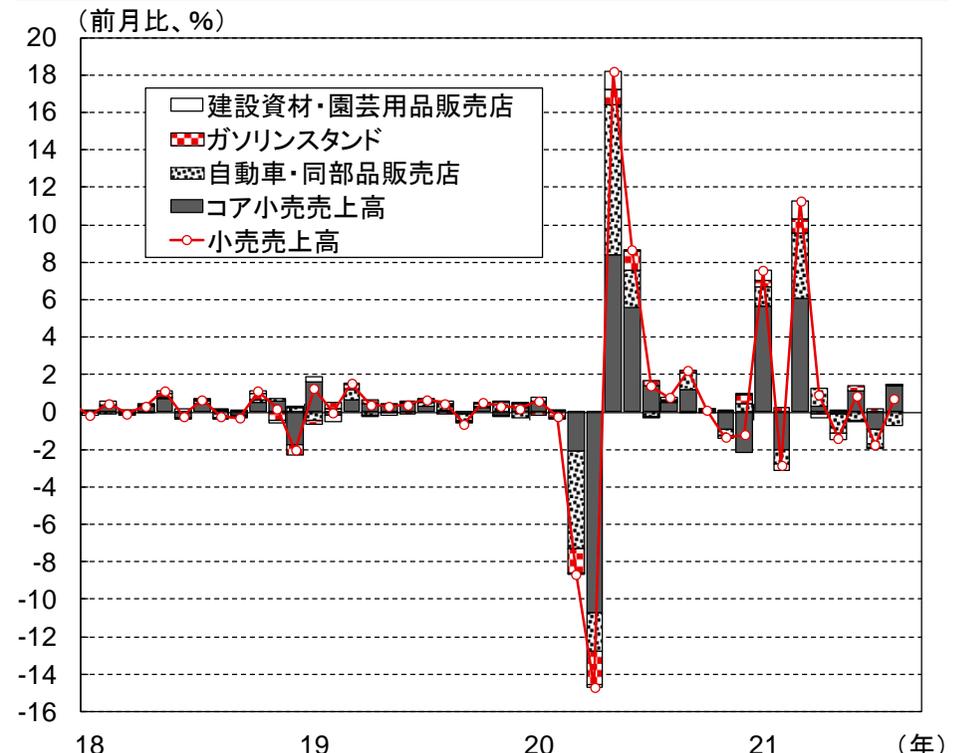
- 一方、8月の小売売上高は、デルタ変異ウイルス感染拡大の影響が懸念されていたものの、前月比+0.7%と2ヵ月ぶりに増加(7月:同▲1.8%)。業種別にみると、「自動車・同部品販売店」、「電機・家電販売店」、「スポーツ用品店・書店等」などが減少した一方、「無店舗小売店」、「家具販売店」、「総合小売店」が増加。「飲食店」は前月から横這い。

カンファレンスボード消費者信頼感指数の推移



(資料)カンファレンスボード統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

小売売上高の推移

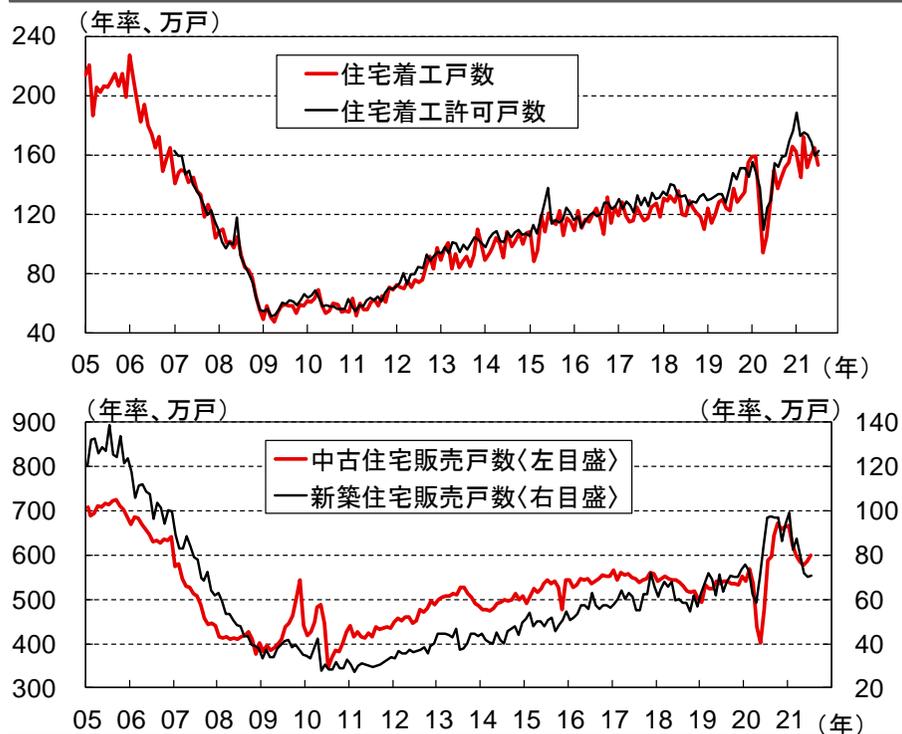


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 5. 住宅

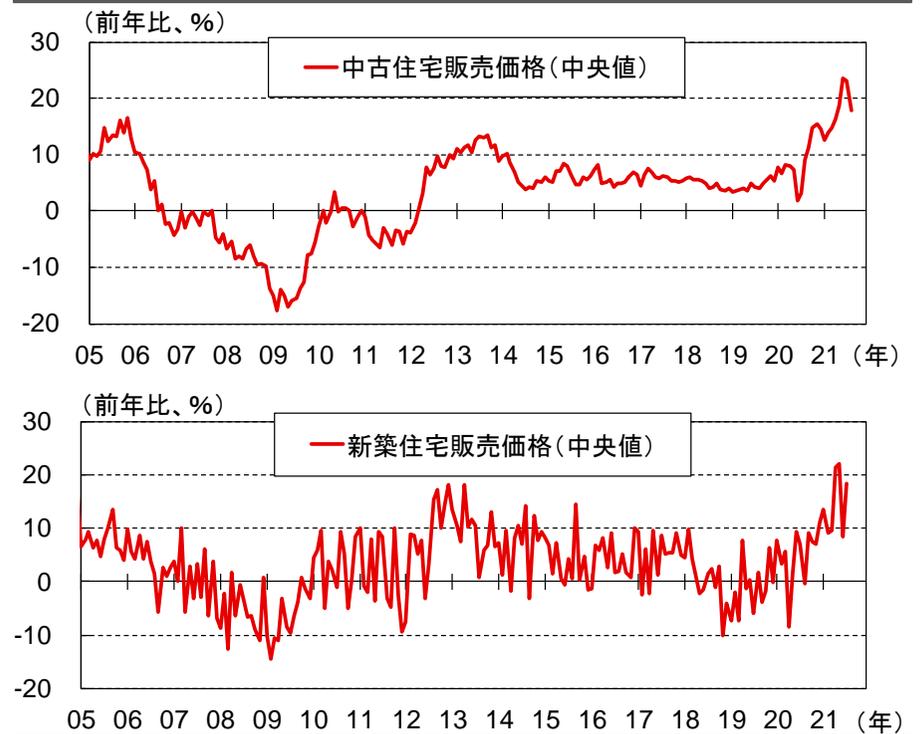
- 7月の住宅着工戸数は前月比▲7.0%の年率153.4万戸(季節調整済)と3ヵ月ぶりに減少。内訳をみると、一戸建住宅は同▲4.5%、集合住宅(2世帯以上)は同▲13.1%と夫々減少。但し、パンデミック前(2019年平均)比では+18.7%と依然高水準。先行指標である住宅着工許可戸数は同+2.3%の年率163.0万戸と4ヵ月ぶりに増加。
- 中古住宅販売戸数は7月に前月比+2.0%の年率599.0万戸(季節調整済)と2ヵ月連続で増加。在庫率は2.5ヵ月(季節調整済)と前月から上昇。販売価格(中央値)は359,900ドル(季節調整前)、前年比+17.8%と上昇したが、前月(6月:同+23.2%)から伸びは鈍化。全米不動産業協会(NAR)のユン・チーフエコノミストは、在庫増加により住宅価格の上昇ペースが先行き鈍化する可能性を指摘。
- 新築住宅販売戸数は7月に前月比+1.0%の年率70.8万戸(季節調整済)と4ヵ月ぶりに増加。在庫率は6.2ヵ月(季節調整済)と4ヵ月連続で上昇。販売価格(中央値)は390,500ドル(季節調整前)、前年比+18.4%と前月(6月:同+8.5%)から伸びが加速。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 6. 物価

- 8月の消費者物価指数は前年比+5.3%と前月(7月:同+5.4%)から上昇幅が小幅縮小。食品とエネルギーを除いたコア消費者物価指数も同+4.0%(7月:同+4.3%)と上昇幅が縮小。前月比でも総合指数は同+0.3%(7月:同+0.5%)、コア指数は同+0.1%(7月:同+0.3%)と伸びが夫々鈍化。「中古自動車」や「輸送・交通サービス」が前月比下落に転じたことが主因。
- 8月の生産者物価指数は前年比+8.3%と前月(7月:同+7.8%)から伸びが加速し、4ヵ月連続で現行統計開始(2010年11月)以来最大の上昇幅を更新。内訳をみると、7月に続き「財」(同+12.6%)、「サービス」(同+6.4%)ともに伸びが加速。但し、前月比では+0.7%と前月(7月:同+1.0%)から鈍化。食品とエネルギーを除いたコア生産者物価指数は前年比+6.7%と、同じく統計開始以来最大の伸びを更新(7月:同+6.2%)。前月比では+0.6%と前月(7月:同+1.0%)から鈍化。

消費者物価指数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移

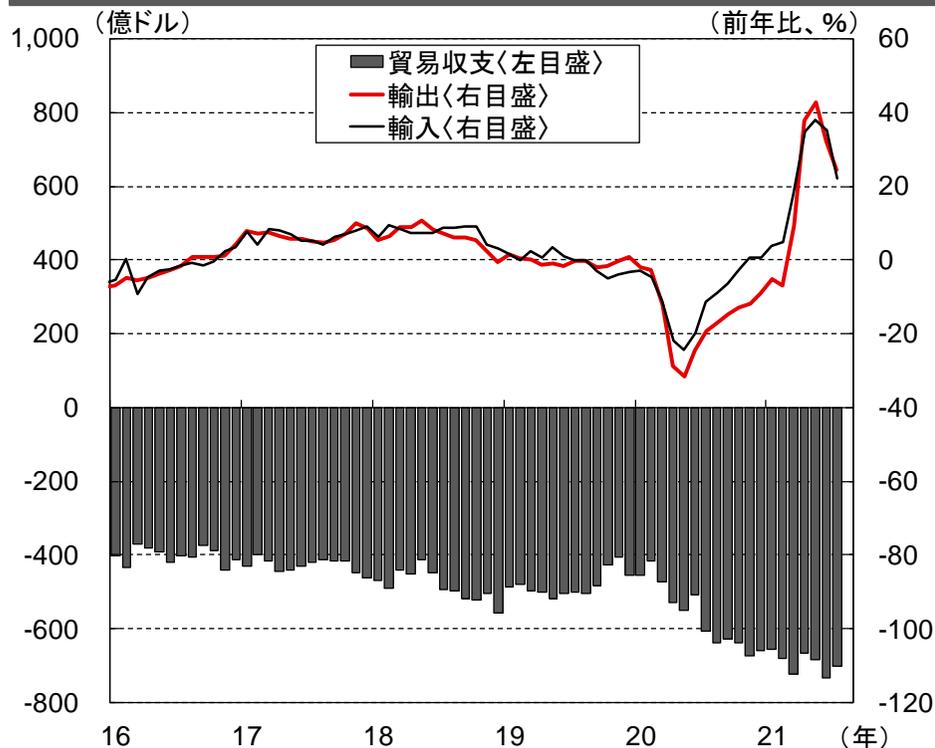


(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 7. 国際収支

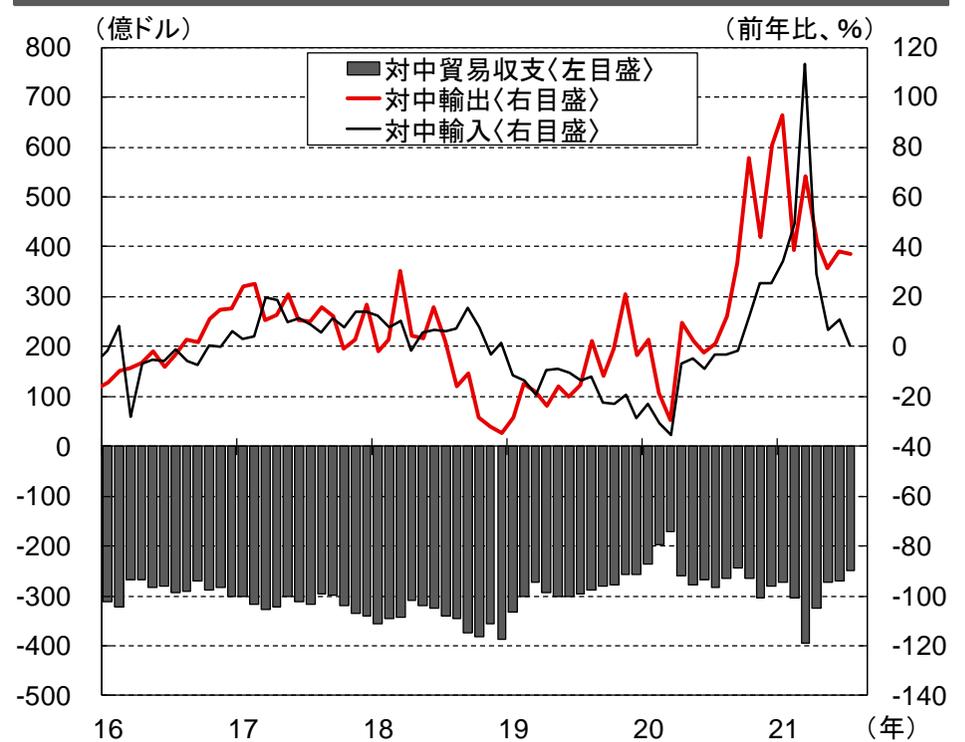
- 7月の貿易収支(財・サービス)は701億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比▲4.3%と縮小。輸出は同+1.3%と増加、輸入は同▲0.2%と減少。デルタ変異ウイルス感染拡大などが輸入(内需)を下押しした可能性が指摘される。前年比で見ると、輸出は+24.5%、輸入は+22.1%と夫々高い伸びを維持しているが、前月からは伸びが鈍化。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国との貿易赤字は7月に250億ドルとなり、赤字幅は前月比▲7.5%(同▲20億ドル)と縮小。パンデミック前の2020年2月対比では、対中輸出(財)は+73.7%、対中輸入(財)は+39.8%。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注) 国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。  
 (資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注) 通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。  
 (資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 8. 金融市場動向

- 10年物国債利回りは、デルタ変異ウイルスの感染拡大による景気減速懸念やFRBによるテーパリング(量的緩和政策の段階的縮小)開始時期を巡る思惑、インフレへの見方などを材料として、足元では1.3%前後で一進一退の動き。
- ダウ平均株価は、9月3日に発表された8月の雇用統計で雇用者数の伸びが鈍化したこと等を受けて景気減速懸念が強まり、足元は弱含みで推移。

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		20年8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	55.6	55.7	58.8	57.7	60.5	58.7	60.8	64.7	60.7	61.2	60.6	59.5	59.9
	ISMサービス業指数	57.2	57.2	56.2	56.8	57.7	58.7	55.3	63.7	62.7	64.0	60.1	64.1	61.7
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	95.9	95.6	96.6	97.2	98.3	99.4	96.4	99.2	99.2	99.9	100.3	101.2	101.6
	前月比(%)	1.1	▲0.3	1.1	0.5	1.2	1.1	▲3.0	2.9	0.1	0.6	0.5	0.8	0.4
	設備稼働率(%)	72.3	72.1	72.9	73.3	74.1	75.0	72.7	74.8	74.8	75.2	75.6	76.2	76.4
	製造業受注(億ドル)	4,444	4,491	4,531	4,604	4,683	4,792	4,812	4,881	4,874	4,986	5,061	5,081	-
	前月比(%)	1.4	1.0	0.9	1.6	1.7	2.3	0.4	1.4	▲0.1	2.3	1.5	0.4	-
	うち耐久財受注(億ドル)	2,231	2,267	2,288	2,338	2,374	2,432	2,463	2,495	2,476	2,555	2,577	2,574	-
前月比(%)	2.0	1.6	1.0	2.2	1.5	2.4	1.3	1.3	▲0.7	3.2	0.8	▲0.1	-	
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	158.3	71.6	68.0	26.4	▲30.6	23.3	53.6	78.5	26.9	61.4	96.2	105.3	23.5
	時間当たり平均賃金(ドル)	29.47	29.50	29.52	29.61	29.91	29.92	30.00	29.97	30.17	30.31	30.44	30.56	30.73
	前年比(%)	4.7	4.8	4.5	4.5	5.5	5.2	5.2	4.3	0.3	1.9	3.7	4.1	4.3
	失業率(%)	8.4	7.8	6.9	6.7	6.7	6.3	6.2	6.0	6.1	5.8	5.9	5.4	5.2
	個人所得(年率、億ドル)	195,339	196,753	196,288	194,350	195,622	215,045	199,551	241,424	208,482	204,046	204,418	206,677	-
	前月比(%)	▲2.9	0.7	▲0.2	▲1.0	0.7	9.9	▲7.2	21.0	▲13.6	▲2.1	0.2	1.1	-
	個人消費(年率、億ドル)	142,705	144,817	145,460	144,673	143,895	148,579	146,996	154,589	156,146	156,231	157,900	158,323	-
	前月比(%)	1.0	1.5	0.4	▲0.5	▲0.5	3.3	▲1.1	5.2	1.0	0.1	1.1	0.3	-
	貯蓄率(%)	15.0	14.3	13.6	13.0	14.0	19.9	13.5	26.6	12.3	9.8	8.8	9.6	-
	小売売上高(億ドル)	5,377	5,495	5,500	5,426	5,360	5,765	5,600	6,231	6,288	6,201	6,254	6,143	6,187
	前月比(%)	0.8	2.2	0.1	▲1.4	▲1.2	7.6	▲2.9	11.3	0.9	▲1.4	0.9	▲1.8	0.7
	自動車販売台数(年率、万台)	1,525	1,628	1,640	1,587	1,631	1,678	1,593	1,764	1,830	1,689	1,547	1,462	1,306
	前月比(%)	3.6	6.8	0.8	▲3.2	2.7	2.9	▲5.1	10.7	3.7	▲7.7	▲8.4	▲5.5	▲10.7
カンファレンスボード消費者信頼感指数	86.3	101.3	101.4	92.9	87.1	87.1	95.2	114.9	117.5	120.0	128.9	125.1	113.8	
ミシガン大学消費者信頼感指数	74.1	80.4	81.8	76.9	80.7	79.0	76.8	84.9	88.3	82.9	85.5	81.2	70.3	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移

		20年8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
住 宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	138	145	151	155	166	163	145	173	151	159	165	153	-
	前月比(%)	▲8.1	5.2	4.6	2.4	7.1	▲2.2	▲11.0	19.2	▲12.2	5.3	3.5	▲7.0	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	597	644	673	659	665	666	624	601	585	578	587	599	-
	前月比(%)	1.2	7.9	4.5	▲2.1	0.9	0.2	▲6.3	▲3.7	▲2.7	▲1.2	1.6	2.0	-
新築住宅販売戸数(年率、万戸)	98	97	97	87	94	99	82	87	80	72	70	71	-	
	前月比(%)	0.5	▲0.6	▲0.2	▲10.7	9.0	5.3	▲17.1	6.1	▲8.8	▲9.5	▲2.6	1.0	-
物 価	消費者物価指数(1982~84年=100)	259.9	260.3	260.4	260.2	260.5	261.6	263.0	264.9	267.1	269.2	271.7	273.0	273.6
	前月比(%)	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.6	0.8	0.6	0.9	0.5	0.3
	前年比(%)	1.3	1.4	1.2	1.2	1.4	1.4	1.7	2.6	4.2	5.0	5.4	5.4	5.3
	生産者物価指数(2009年11月=100)	118.5	118.7	119.5	119.3	119.4	120.9	121.9	123.0	124.3	125.0	126.3	127.6	128.3
前月比(%)	0.2	0.3	0.6	0.0	0.3	1.2	0.7	0.8	1.0	0.5	1.0	1.0	0.7	
	▲0.3	0.3	0.6	0.8	0.8	1.6	3.0	4.1	6.5	6.6	7.3	7.8	8.3	
国 際 収 支	輸出(財、億ドル)	1,190	1,220	1,258	1,268	1,315	1,344	1,303	1,436	1,451	1,456	1,459	1,486	-
	輸入(財、億ドル)	2,019	2,036	2,079	2,130	2,163	2,210	2,196	2,366	2,321	2,350	2,392	2,363	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲830	▲816	▲821	▲862	▲848	▲866	▲893	▲930	▲871	▲893	▲933	▲877	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲637	▲626	▲637	▲673	▲658	▲657	▲682	▲722	▲667	▲685	▲732	▲701	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)  
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : [cokada-wighe@us.mufg.jp](mailto:cokada-wighe@us.mufg.jp)